

《日中事業所での対応》

しおかぜ作業所では、玄関先にアルコール消毒を設置し、毎朝出勤時に手指の消毒をしています。

送迎車はできる限り隣との間隔を空けられるように配席しました。弁当の配達に行く時は、各家に訪問する前に必ず手指の消毒を行います。

消毒の回数が増えて手が荒れてきたり、マスクを嫌がってははずしてしまうこともありですが、配達先では、笑顔で仕事に取り組んでいます。

洗浄の作業では湿気がこもるので、作業中は扇風機を回したり、周囲の窓をすべて開けて換気を良くする対策をとっています。

自動車は毎回使用後に、次亜塩素酸ナトリウム水溶液で車内を拭いています。その間、仲間の対応が手薄になりやすいため、職員同士の連携をとり、流動的に動けるよう心がけています。

配食グループは、普段から仕事上清潔に心掛けているので、作業はこれまでと大きく変わることなく行っていますが、「マスクが暑くて苦しい」、「耳のゴムが痛いから外したい」という発言が上がっています。その都度、職員が「コロナの感染を防ぐためにマスクしようね」と声掛けて励ましあって取り組んでいます。

昼食は、どのグループもスクール形式をとっています。廊下部分にも机を出して間隔にも配慮しています。

誕生口会は、司会者が事務室から放送を利用して進行し、仲間は各グループの部屋でお祝いに参加する形をとることで密になることを防いでいます。

配食グループの仲間たちは一泊旅行が中止となり残念がっています。各作業所のまつりや港区ふれあい広場など、楽しみにしていた行事も中止となりましたが、コロナが収まってまた行けるようになるといいねと話合っています。

様々な行事が中止になったことで、土曜開所では密にならずにみんなが楽しめる活動を職員で話し合い、ご当地グルメと名物を味わう企画なども行っています。

いろいろな場面でいつもと違うことが増えましたが、仲間も職員も、前向きに元気に取り組んでいます。

(服部明代)



コロナ禍でも 売りあげのアップをめざして

しおかぜ作業所

7月から昼食の弁当箱が新しく電子レンジ対応型になりました。ごはん、汁容器については保温容器が電子レンジ対応かお客様に選択して頂いています。ダイレクトメールやチラシ配り、営業活動を行い宣伝に力を入れています。低価格のお弁当の開発もしています。



うらじの家 ぱんだふる

「オンラインショップを開設！」

ぱんだふるのパンを全国にお届け出来るようになりました。遠方の方のご利用だけでなく、近隣の方も、遠方のご友人や親せきの方への贈り物としてもご利用いただけます。ご利用は、『ぱんだふる』ホームページの『オンラインショップ』から。



編集後記

「立秋号」いかがでしたでしょうか。すっかり夏の気候がつつき、暑い毎日が続きますね。

特に今回の号で強く印象に残るのが「各事業所でのコロナ対策」だと思います。引き続き作業や食事の場面での工夫はもちろん、手洗い・消毒・マスクを徹底して対応していきたいと思っています。仲間・職員一人ひとりが意識して行動する事が大切です。

またコロナ禍だからこそ、新しい挑戦をしている事業所もあります。視点を変え、物事を多角的に考えれば今までにない違った考えが生まれます。こんな状況下だからこそ、「今できること」を大切に更なる事業展開をしていきたいと思っています。

まだまだ終わり見え、仲間たちはイベントなどが中止になり退屈しているかもしれません。ですが、これからもみなさん協力し合って乗り越えていきましょう。

(安井まどか)



ともに育つ会ニュース



港区障害者(児)とともに育つ会 〒455-0803 港区入場1-114-1 TEL(052)355-8000

「コロナ禍の今」に思う

港区障害者(児)とともに育つ会 会長 磯崎明美

今、私たちはコロナという未曾有の災禍に遭遇しています。

風水害、震災と、昔は忘れた頃にやってくる、先輩達より教えられた事が、今は忘れない頃に、すぐやってくるようになった。

この災禍により、障害者や家族が、ただでさえ生きにくい社会が、更に生きにくくなった。震災や風水害での避難所の問題、新型コロナウイルスに罹患したら、この子や親の問題どちらも居場所の問題で、家族は苦境に追いやられる。

また、年老いた親に、ソーシャルディスタンス、クラスター、パンデミック、ロックダウン、オンライン診療、東京アラート、テレワークと横文字の羅列で事態が説明され、戸惑う。

今、社会全体が、全員が、罹患して死に直面するかも知れない。私たち障害者、家族は幾多の差別を味わってきた、もう生きていけないと何度思った事か。

しかし、この子との1回限りの、この世での遭遇として、障害という事実を絆とする親子の思想「私たちが死んだら」という痛哭には、差別と抑圧と疎外の歴史の重層性が、一人一人の親と子の生の現実に凝縮している。

何故、今も老後、傷病、障害、貧困、どの局面をとっても壮大な行政、制度システムのの中身は突き詰めれば、依然として棄民的状況を脱しきれない。障害者児の親が「私たちに万一のことがあったら、この子は…」という嘆きに終わること象徴している。

そして更に高齢化が進む中、老人という状況も障害者なんだと。若い頃と比べると皆衰えるし、足腰は弱くなるし、人は皆そこへいくと思う。だから老人問題と障害者問題は繋がるという考え方が大事で、全ての人が考える問題です。

ある人が、「思想とは、個人がともかく自分の人生を大切に、よりよく生きようとして、人それぞれの生きる為の必死の工夫として紡ぎ出すものだ。」と。

今、コロナがその事を、私たち人を、人の心を改めて問い直し、目に見えない巨大な敵に、すべての人が真摯に向かい合い、「一生」を問い直す「とき」と考え、手をつなぐ時だと改めて思う。



『アマビエ』

「我が姿を絵に描いて人に見せよ。人々を疫病から守る」と言われ、コロナ終息を願って、磯崎憲一さん(会員)が描いた絵。



『NAGOYA SHACHIHOKO』

豊田工業高等専門学校(宮島大知様)よりコロナ禍でパンの販売ができないうるじの家 ぱんだふるにフェースシールドを南陽支所の努力で寄付いただきました。港区長より感謝状を贈呈いたしました。

2020年度

新人職員の紹介

2019年6月から2020年5月までに採用された職員みなさんからコメントを寄せていただきました。



わーくす昭和橋 小池友紀子さん

前職は放課後等デイサービスの児童指導員として働いていました。初めての障害福祉の現場はいろんな性格の人がいて、それが日々おもしろく感じました。より深く関わりたくなり、成人の障害福祉に興味を持ち、みなと福祉会に入社させていただきました。

これからの目標は、ひとりひとりと向きあって関係性や知識を深めていきたいです。今後ともよろしく願っています。



うろじの家 加藤ゆいさん

入職の動機は、学生時代に障害のある方が少しの配慮で自分の力を生かしながら活躍している姿を見て、私もそうしたお手伝いができたらなと思ったからです。

初めは、話しかけても返答や挨拶がなかった仲間から、初めて話しかけてもらった時はとても嬉しかったです。

旅行で、旅行先の名物をただひたすら食べる旅が好きです。これからも仲間と一緒に日々頑張っていくと思います。



しおかぜ作業所 小川巧さん

大学で、障害児者の余暇支援をおこなうボランティアグループで活動していたことが入職のきっかけです。動き出してうれしかったことは、仲間と少しずつ関係性が構築できていると感じる時です。仲間の新しく知った一面に出会った時もうれしく思います。

これからは、「仲間といっしょに」を大事にし、考えて実行する力を磨いていきたいです。そして、いっしょに頑張ったり喜びあったりしながら1日1日を大切に過ごしていきたいです。



あしたの家 井龍彩佳さん

私は学生時代、保育士を目指していました。その過程で偶然、障害者支援施設で実習をさせて頂く機会があり、そこで一生懸命生活している利用者を見て、目指すものを変えようと思った。一生懸命生活している人達の助けをしたいという気持ちを持ち、みなと福祉会への入職を目指しました。

趣味は美味しいお酒が飲めるお店をさがすことです。

まだまだ未熟者で仲間との関わり方等で悩むことも多いですが、よろしく願っています。



みなとホーム 橋詰明子さん

普段、仲間と接する時間が少ない私ですが、「おはよう」「橋詰さんだったんだね」と声をかけていただいた時は胸にグッときました。少しずつ仲間と会話もできるようになりつつある事を実感する時が増えているのは、とても嬉しいです。

これからのチャレンジとして、入浴タイムを楽しんでもらうために①歌のレパートリーを増やす②仲間の好きな本の知識を増やす。そして仲間との距離が縮まるよう私が仲間と誠実でありたいと思います。



みなとホーム 梶浦佑華さん

わーくす昭和橋にインターンシップで参加した際、職員みなさんがとても暖かく雰囲気の良い所だと感じました。それからアルバイトで働くようになり、ここで就職したいと思いました。

趣味は、野球観戦です。新型コロナウイルスのために観戦に行く事ができませんが、安心して観戦に行ける事を楽しみにしています。

私は、大学では福祉の勉強をしてこなかったため、これから少しずつ資格を取ってまいります。



わーくす昭和橋 正木雄馬さん

自分の弟が自閉症であり、昔から親は大変そうに育児をしていました。時には自分も手伝ったり、色々な家庭の事情を知っていくたび、「もっと力になりたい。少しでも役に立ちたい」と子どもの頃から思っていました。そうして大人になり、やはりこの世界で働いてみたいと思い入職しました。

趣味は、音楽を聴いたりギターを弾いたりしています。自分の好きなことも仕事に活かすことができれば良いと思います。



うろじの家 船戸茂浩さん

入職の動機は、家庭の事情も落ち着き、新たなスタートを切るために前職での福祉の知識を生かしたいと思ったからです。縁あって入社する運びとなりました。

かつては就労継続B型の職業支援員をしていたことから、生活介護の仲間には少し厳しく思われるかもしれませんが、もしご両親がいなくなってしまうら？今後どうしていけばいいのか？などの不安を取り除くようなお手伝いをしていけたらと思います。



みなとホーム 鈴木朋子さん

2019年8月に入職しました。18歳の時、知的障害の方と交流があり、そのことをきっかけに瑞穂区で障害者青年学級にかかわったこと、一年間グループホームで働いたことがあり、もっと関わりたいと考え、縁がありみなと福祉会に入職しました。

夜勤に入ると、「待ってたよ」と笑顔で迎えてくれる利用者さん達。これからも利用者さんと同じ目線に立つことを心がけてがんばっていききたいと思います。



しおかぜ作業所 服部良夫さん

「2025年問題」をふまえて入職したと言いたところですが、偶然というのが本音です。利用者から誕生日カードをいただいた時はうれしかったです。趣味は、クラシックとジャズ。モーツァルトとチャーリーミンガスのファンです。個人で旅行に行くのも好きです。

今後の夢は、100歳まで生きること。そして4回目の語学留学に行きたいことです。Learning English.



みなとホーム 村上唯里さん

私の入職の動機は、福祉の仕事に興味があったことと、自分の能力を活かせる仕事だと思ったからです。前職での経験や、親戚に重度の知的障害を持った人がいて、幼い頃から一緒に遊んで接してきたこともありです。

仕事をしていて嬉しい瞬間は、仲間が笑顔で近寄ってきてくれる時です。心を開いてくれたのかなと嬉しくなります。これからも多くの仲間が心を開いてくれるようがんばります。

2019年度 決算報告

法人名：社会福祉法人みなと福祉会
(自)2019年4月1日
(至)2020年3月31日

資金収支計算書 (単位：円)

勘定科目	金額
就労支援事業収入	54,742,453
障害福祉サービス等事業収入	959,861,211
借入金利息補助金収入	2,768,262
経常経費寄附金収入	2,409,805
受取利息配当金収入	4,093
その他の収入	13,324,254
事業活動収入計	1,033,110,078
人件費支出	719,091,287
事業費支出	69,945,794
事務費支出	121,821,413
就労支援事業支出	64,720,990
支払利息支出	4,863,056
事業活動支出計	980,442,540
事業活動資金収支差額	52,667,538
施設整備等補助金収入	20,834,542
施設整備等寄附金収入	0
設備資金借入金収入	0
固定資産売却収入	5,720
その他の施設整備等による収入	290,100
施設整備等収入計	21,130,362
設備資金借入金元金償還支出	40,144,000
固定資産取得支出	6,700,291
その他の施設整備等による支出	6,000
施設整備等支出計	46,850,291
施設整備等資金収支差額	-25,719,929
積立資産取崩収入	2,212,124
拠点区分間繰入金収入	0
その他の活動収入計	2,212,124
長期前払費用支出	0
積立資産支出	11,668,120
拠点区分間繰入金支出	0
その他の活動支出計	11,668,120
その他の活動資金収支差額	-9,455,996
予備費支出	0
当期資金収支差額合計	17,491,613
前期末支払資金残高	382,395,323
当期末支払資金残高	399,886,936

事業活動計算書 (単位：円)

勘定科目	金額
就労支援事業収益	54,742,453
障害福祉サービス等事業収益	959,861,211
経常経費寄附金収益	2,409,805
その他の収益	0
サービス活動収益計	1,017,013,469
人件費	726,358,581
事業費	69,945,794
事務費	120,322,372
就労支援事業費用	69,672,730
減価償却費	55,024,452
国庫補助金等特別積立金取崩額	-26,312,472
徴収不能引当金繰入	-9,108
サービス活動費用計	1,015,002,349
サービス活動増減差額	2,011,120
借入金利息補助金収益	2,768,262
受取利息配当金収益	4,093
その他のサービス活動外収益	13,324,254
サービス活動外収益計	16,096,609
支払利息	4,863,056
サービス活動外費用計	4,863,056
サービス活動外増減差額	11,233,553
経常増減差額	13,244,673
施設整備等補助金収益	20,834,542
施設整備等寄附金収益	0
固定資産売却益	0
特別収益計	20,834,542
基本金組入額	0
固定資産売却損・処分損	3,327,963
国庫補助金等特別積立金取崩額	-1,425,881
国庫補助金等特別積立金積立額	20,834,542
特別費用計	22,736,624
特別増減差額	-1,902,082
当期活動増減差額	11,342,591
前期繰越活動増減差額	619,496,655
当期末繰越活動増減差額	630,839,246
基本金取崩額	806,770
その他の積立金取崩額	290,000
その他の積立金積立額	4,057,000
次期繰越活動増減差額	627,879,016

貸借対照表 2020年3月31日現在 (単位：円)

資産の部	
流動資産	445,713,119
固定資産	1,388,860,213
基本財産	1,244,035,759
その他の固定資産	144,824,454
建物	3,610,286
構築物	37,614,443
機械及び装置	563,000
車両運搬具	5,070,612
その他の固定資産	97,966,113
資産の部合計	1,834,573,332

負債の部	
流動負債	109,510,157
固定負債	608,727,803
負債の部合計	718,237,960
純資産の部	
基本金	100,984,850
国庫補助金等特別積立金	368,590,297
その他の積立金	18,881,209
次期繰越活動増減差額	627,879,016
(うち当期活動増減差額)	11,342,591
純資産の部合計	1,116,335,372
負債及び純資産の部合計	1,834,573,332